

石クリ通信

1月号

二〇二三年

看護師

太田 小百合

明けましておめでとうございます。今年
は卯年です。うさぎはその跳び姿から「飛
躍」「向上」を象徴しているそうで、新し
いことに挑戦するのに最適な年と言われて
います。何に挑戦するかはまだ考え中です
が、うさぎのようにピョンピョンと少しず
つ跳ね、前進できる年にしたいと思います。
今年もよろしくお願ひします。



当たり前のことに感謝

院長

石川 悟

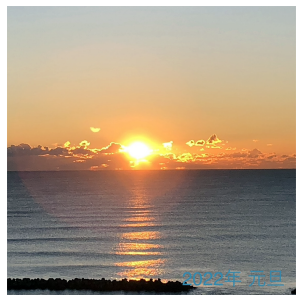
朝起きて日が昇り、明るい陽光に照らされて、青空を見上げ
ることができる。体に何の異和感（医学的にはこの漢字をあて
る）も感じることなく、平和な生活ができる。スイッチを押せ
ば暖房が入り、蛇口をひねれば清潔な水やお湯が出る。スーパ
ーマーケットには物があふれ、コンビニエンスストアには日常生
活に必要なものが完備されている。スマートフォンを操作すれ
ば、食料でも何でも配達してくれる。スマートフォンの操作すれ
ば、このような平和で快適な生活がこれからもずっと続いてくれ
るように願ひつつ、生活基盤を支えてくれる多くのの方々
に感謝しなければならぬと思います。そして多くの困難な生活
を送っている人々が世界の多くの地域に存在しているという現
実に思いをはせ、また突然襲ってくる地震などの自然災害や停
電、断水などの事態にどのように行動するか、心構えと物資の
備えをしておく必要があると改めて思います

よろしくお願ひします

事務

吉田 政子

あけましておめでとうございま
す。毎年元旦は、昨年の感謝と新
しい年の幸せと健康を願ひなが
ら、初日の出を拝みます。
今年の目標のひとつとして、健
康のためにドックの結果の「H」
の文字を、なくしたいと思ひます。
（今年こそは…）
今年もどうぞよろしくお願ひし
ます。



誕生日プレゼント

看護師

澤田 彰子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願
ひいたします。
先日私の誕生日がありました。昨年に引き続き主人から
のプレゼントは、私の期待とは裏腹に美味しいものではな
く洋服でした。しかもサイズがXSでファスナーを閉める
とばんばんでこの1年で5キロ太った私には「痩せろ！」
という挑戦状にしか思えない物でした。次こそは美味しい
ものが届くと信じて一年間待ち続けたいと思います。

謹賀新年

事務

森 多加子

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お願ひします。
昨年末、知人からとても美味しい日本酒を頂きました。
川尻海岸近くの森島酒造の『森島』と言うお酒でした。ご
存じの方も多いかもしれませんが、蔵元に行ってみたくな
り早速訪問してみました。蔵元の方のいろいろな説明しても
らい2本購入しました。今年も美味しいもの、たくさん見
つけたいと思います。もちろん健康に害が無い程度に（笑）

アクティブひたち政策

事務・広報・ウェブ

石川 香

『アクティブひたち』という政治団体を立ち上げました。
二〇二三年四月の日立市議会議員選挙を見据えてのこと
になります。今回は当団体が掲げている政策を紹介しま
す。「学童保育のお弁当制度導入」や「保育所の制度改革」
は子育て現役世代として、周りからの声も非常に多いもの
で、多くの市では進んでいるので、日立でもぜひ実行した
い政策です。

日立らしいものとしては「海や山、自然の中で遊び学
ぶ環境教育活動の企画」を挙げます。四季折々の自然の中
で遊ぶことは、何よりの教育です。私の子ども達が通う保
育園では、自然と大いに関わって遊んでいます。小学校に
入った途端、そのような環境が、とりわけ市の関係してい
る活動が少ないのが残念です。

海と山での環境教育の年間プログラムを作り、高萩と那
珂市でコドモクエストという活動を行っている代表の方に
先日お会いし、運営方法などお話を伺いました。山と海の
ある逗子市でも「原っぱ大学」という団体が環境教育活動
をしています。このようなモデルを参考に、ぜひ日立
でも小・中学生を対象とした、自然の中での環境教育活動
を行うフリースクールや学童などを企画し、市をあげて自
然の中での遊びを盛り上げて行きたいです。
よい教育環境を増やしていくことで「子育ては日立市で」
を進めて行きたいです。

「希望」を処方し

事務長

石川 都

また新しい年が明けました。おめでとうございます。
昨夏に亡くなった精神科医中井久夫の特集が年末か
ら続々と出て、NHKのEテレ「100分で名著」でも
斎藤環氏が中井の代表作を読み解いていました。
中井は、これまで不治の病とされてきた統合失調症
を、誰でもなりうる病であり、また治る病であるとし
ました。

さらに、ただ治すのではなく「やわらかに治す」こと
の大切さも説いています。人の心には「うぶ毛」があ
って、これは外界へのセンサーであると同時に内界を守
るものでもあり、周囲はこの柔らかな「心のうぶ毛」
を摩擦させないよう気をつけなければならないと強調
しました。

中井が特に重視したのは病の回復期で、あたかも山
を一步一步下りるようなそのプロセスを手助けするの
が医療者の役割であるとした。またその過程で生
まれる本人の思いや欲求も、もうそろそろ大丈夫だ
という「ゆとり」から来るものか、何とかしなければと
いう「あせり」から出たものかを、医療者はじっくり
見極める必要があるとした。

中井の有名な言葉に「医者が治せる（cure）患者は
少ないが、看護（care）できない患者はいない」があ
ります。また文学という造詣の深かった中井らしく、処
方の皿には「希望」というパセリを添えて・・・という
文学的表現もしています。

中井久夫先生としては、医療とは何より「希望」の処
方であるべきでした。病む人に寄り添い、柔らかな「心
のうぶ毛」を大切にすることは、日々の医療において
も、また医療に限らず誰もが誰にもできることだと中
井は語っています。

その言葉を目標に、今年も皆で頑張つてゆきたいと
思います。
どうぞよろしくお願ひいたします。

令和五年

看護助手

柴田 さち子

明けましておめで
とうございます。令
和四年は、一年が早
く過ぎてしまいました
。令和五年を迎え
た。今年はいよいよ
新しい生活を送りたい
と思ひます。今年もよ
ろしくお願ひ致しま
す。

